

箕面公園昆虫館 <http://www.mino-konchu.jp>
〒562-0002 大阪府箕面市箕面公園1-18
TEL.072-721-7967

vol.21 TAKE FREE



箕面公園で昆虫たちと遊ぼう

箕面公園 昆虫館 だより

Minokoen Konchukan

Vol.21

新しい昆虫図鑑は凄いのだ。

企画展
昆虫図鑑ができるまで

館長奮闘編





学研の図鑑 LIVE 新版「昆虫」
 総監修：丸山宗利、副監修：長島 聖大、中峰 空
 発刊：2022年6月23日 ページ：316頁
 価格：2,420円(税込)

企画展

新しい昆虫図鑑は凄いのだ。

昆虫図鑑ができるまで

館長奮闘編

共催：九州大学総合研究博物館
 協力：株式会社学研プラス/伊丹市昆虫館

2022年9/7(水)~12/5(日)まで

箕面公園昆虫館
 中峰 空 館長

昆虫図鑑の制作過程がわかる企画展です



2020年9月下旬、九州大学総合研究博物館准教授の丸山宗利博士から学研の図鑑LIVE新版の作成が始まるので、カゲロウ、カワゲラ、トビケラのいわゆる川虫と直翅類の小さい分類群を担当してもらえないだろうかとお話がありました。あまりにも専門外で自信が持てず戸惑いましたが、丸山さんの二生に一度あるかどうかの機会という言葉を聞いて覚悟を決めました。詳しく話を聞くと、全て生きたものを白バックで撮影、制作期間は約1年というとても大変なものでした。この時から採集と撮影そして解説の執筆という奮闘の日々が始まったのです。小さくてとても地味な昆虫の撮影に1年かかったり、未記載の昆虫を見つけたので慌てて記載論文を執筆したりと、本当に怒涛の1年間でした。総勢40名の撮影チームの努力が実を結んだ『学研の図鑑LIVE昆虫新版』は最高の昆虫図鑑となりました。そしてこれから先は皆さんの出番です。ポロポロになるまで読み込んでくれたり、将来もついでに図鑑を作ると意気込んでもらえたら、この図鑑に携わった者として心から嬉しく思います。

学研LIVE昆虫の見方



疑問を解説するコラム

そのページで紹介している昆虫に関する疑問を解説するコラムです。例えばカゲロウ目では初秋に大発生することがあるオオシロカゲロウの生態について解説しています。

各種の解説

種名、特徴や生態、分類、体の大きさ、見られる時期、分布、食べ物などについて解説しています。また、絶滅危惧種、日本固有種、有毒・危険生物はそれぞれのマークを付けて示しています。

目の解説

そのページで紹介している目の体のつくりや特徴について解説しています。

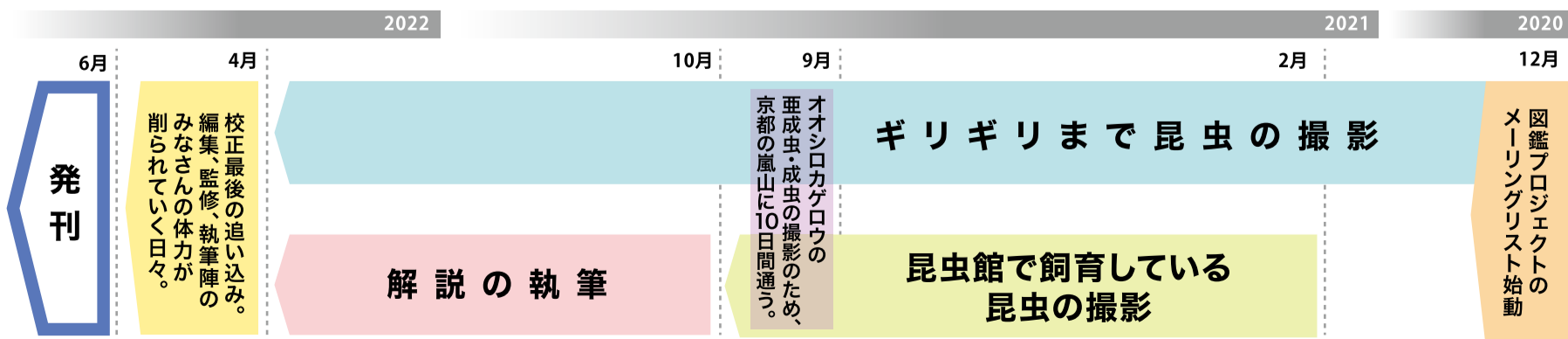
ココに苦労しました!

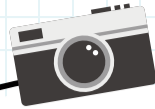


館長ウラ話

この図鑑の売りの一つが「生きたまま白バックで撮影」というものでした。つまり一から採集して撮影するという事です。しかも実質制作期間は1年間、採集するにも1シーズンしかないという事です。これは撮影隊のみなさんだけでなく、採集に協力してくれた方全員で力を合わせて進めることができました。

図鑑ができるまでの館長のスケジュール





生きている昆虫を
どうやって
撮るの？

生体展翅は このように撮影しました。

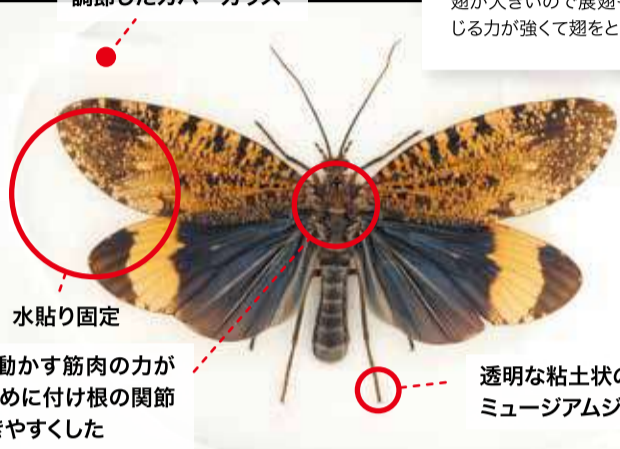
各目の解説に使う展翅写真も標本ではなく生きた状態のものを使うことにこだわりました。生体展翅の撮影は動く状態では不可能なので、その昆虫に合った方法で麻酔して撮影しました。しかし時間をかけて展翅や撮影をしていると麻酔からさめて動き出すことがあるので、手早く綺麗に仕上げて撮影する必要がありました。

ムラサキトビケラ (トビケラ科)

Eubasilissa regina

後翅の色が特徴的な日本最大のトビケラです。翅が大きいの展翅も楽かと思いきや、翅を閉じる力が強くて翅をとめるのに苦労しました。

げたをはかせて高さを
調節したカバーガラス

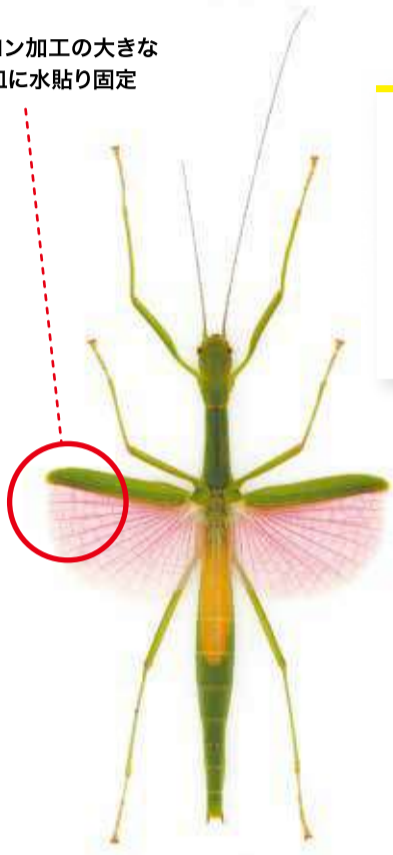


水貼り固定

透明な粘土状の
ミュージアムジェルで固定

翅を閉じる方向に動かす筋肉の力が
強いので、弱めるために付け根の関節
の一部を切って開きやすくした

テフロン加工の大きな
時計皿に水貼り固定



ヤスマツトビナナフシ (トビナナフシ科)

Micadina yasumatsui

箕面でも見られるトビナナフシです。前翅がとて小さいのがわかるでしょうか。後翅はピンク色でとても美しいです。標本にすると色があせてしまうので、生体ならではの美しさです。

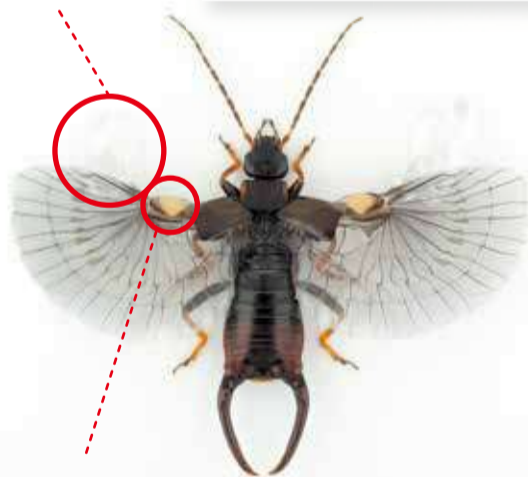
とても展翅しやすく美しい

コバサミムシ (クギヌキハサミムシ科)

Anechura harmandi

翅を持つハサミムシの後翅はこのような翅が細かく折り畳まれています。後翅を破らないように慎重に開きながら前縁中央の革質部分をピンセットの先で軽く押さえると、パッと開きます。これは翅が半自動的に開閉する仕組みが備わっていると考えられます。

透明な粘土状の
ミュージアムジェル

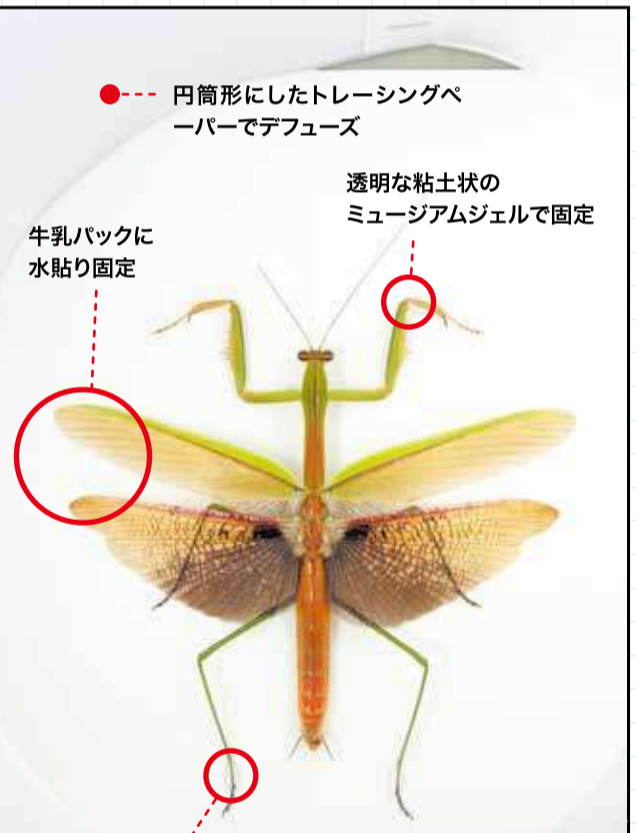


後翅を開きながらこの部分をおさえると翅がパッと開くので、その状態のままミュージアムジェルで固定する。

● 円筒形にしたトレーシングペーパーでデフューズ

透明な粘土状の
ミュージアムジェルで固定

牛乳パックに
水貼り固定



透明な粘土状のミュージアムジェルで固定

オオカマキリ (カマキリ科)

Tenodera sinensis

日本のカマキリの中で最も有名なカマキリです。翅はとても素直に開いてくれるので、簡単でした。前脚を左右対称に固定するのがちょっと難しかったです。

最初は各目の解説担当者が生体展翅をすることになっていましたが、さまざまな理由から15日分を中峰が担当することになりました。



「中峰館長が」
発見

図鑑制作過程で新種発見！！

「ガッケンホソカワゲラ」と命名

2021年3月18日、京都の鞍馬川に図鑑用の水生昆虫を探しに行きました。この日狙っていた虫を見つけられず、川沿いの道をトボトボと歩いていたら開けた河原が見えたので休憩がてら行ってみました。すると石の上にホソカワゲラ科の成虫が歩いているのを見つけました。図鑑用にと11個体採集して翌日昆虫館で詳しく調べてみると、論文で見たことのない形態の腹端を持つものが2個体いました。もしかしてこれは未記載種では、と思い詳細に調べて論文にして2021年8月17日に日本動物分類学会のSpecies Diversityに投稿、2022年2月20日に受理、3月25日にオンラインで無事発行されて、ガッケンホソカワゲラが新種として世に出ることになりました。



ガッケンホソカワゲラ (ホソカワゲラ科)

Perlomyia gakken

幼虫はまだ見つかっていませんが、ホソカワゲラ科の幼虫は川底の深い砂の間にすんでいることが分かっています。ガッケンホソカワゲラと同じハルホソカワゲラ属は学名がついてない未記載種が多数いると考えられています。

撮影：中峰 空
Gakken



箕面公園昆虫館は箕面公園内にあります

自然豊かな箕面公園も一緒に楽しみませんか？

箕面大滝シルバーウィーク ライトアップ

今年から夏だけでなく、季節ごとにライトアップ。シルバーウィークバージョンのカラーで演出します。

期間：

9月16日(金)～9月19日(月・祝)

9月23日(金・祝)～9月25日(日)

日没～21:00

※9月20日(火)～9月22日(木)の
ライトアップはありません



9月23日(金・祝)にはライトアップされた滝前でサックス&ギターのライブ演奏もあります。

時間：19:00～20:00 雨天中止 観覧無料
出演：PEPE Django

①みのお大滝

公園の入口である一の橋を渡り、楓のトンネルや杉木立の中を溪流に沿って滝道を2kmほど歩くと、「日本の滝百選」に選ばれた高さ33mのみのお大滝(箕面大滝)に至ります。



②野口英世像

世界の医聖といわれている野口英世博士は、大正4年(1915)米国留学から帰国した際、待ちわびていた母を伴って箕面に来遊されました。それにちなみ博士の生前の偉業をたたえ、昭和30年(1955)11月に銅像が建立されました。



③望海展望台

急峻な展望道を登りつめると、視界が一気に広がりが爽快な気分になります。天気の良い日には、ここから大阪湾を一望のもとに見渡せますよ！



④瀧安寺

658年飛鳥時代、役行者が箕面寺を建立したのが始まりといわれ、山岳信仰修験道の根本道場として、大護摩法要(毎年4・7・11月)が行われます。本堂の弁財天は、江の島、琵琶湖竹生島、宮島とともに日本四弁財天の一つです。また、宝くじ(富くじ)発祥のお寺としても知られています。



箕面公園昆虫館

ご注意とお願い

- ゴミは各自で持ち帰ってください。
- 公園内は火気厳禁です。焚き火・バーベキューなどはできません。
- 公園内は一般車両(自転車含む)の乗り入れはできません。
- 草花や木を採らないでください。
- サルやイノシシなど野生動物にエサを与えないで下さい。

感染防止対策にご協力願います。

- 中止：「ふれあい体験」など館内イベント
- 館内一部コーナーや設備の利用制限があります
- 入館時、見学時はマスクの着用をお願いします
- 再入館はできません

- 換気設備常時運転、排煙窓など開放する等の換気をおこないます。
- 館内の定期的な消毒活動をおこないます。
- スタッフはマスク着用、距離をとっての接客とさせていただきます。



屋外でも感染予防をしっかりと

マスクを着用する、お互いの距離をあけるなど感染予防対策をしっかりと行ったうえで、箕面公園および箕面公園昆虫館をお楽しみください。



箕面公園昆虫館の利用案内

URL <http://www.mino-konchu.jp>

所在地 〒562-0002 大阪府箕面市箕面公園1-18 TEL.072-721-7967

開館時間 午前10時00分から午後5時00分(入館は午後4時30分まで)

休館日 火曜日が休館(祝日のときは開館し、翌平日が休館)・年末年始(12/29～1/3)

入館料 大人 280円、中学生以下無料、団体(有料入館者30名以上) 1名 200円
※障がい者手帖をお持ちの方、およびその介護者1名 無料

交通機関 阪急宝塚線 石橋阪大前駅で箕面線に乗り換え箕面駅へ、千里中央駅から阪急バスで箕面駅へ



●箕面市立駐車場をご利用ください。箕面公園昆虫館には駐車場がありません(公園内、一般車両乗り入れ不可)

発行：箕面公園指定管理者 メイプルハーツ企業共同体